

議員提出議案第3号

第88回国民体育大会及び第33回全国障害者スポーツ大会の
招致に関する決議

この議案を別紙のとおり提出する。

平成30年10月15日

坂野 経三郎	森 雅 幹
福浜 隆 宏	市谷 知 子
錦織 陽 子	内田 隆 嗣
西川 憲 雄	野坂 道 明
中島 規 夫	島谷 龍 司
浜田 一 哉	松田 正
川部 洋	濱辺 義 孝
興治 英 夫	伊藤 保
浜田 妙 子	長谷川 稔
藤井 一 博	福田 俊 史
山口 享	藤縄 喜 和
上村 忠 史	内田 博 長
浜崎 晋 一	広谷 直 樹
斉木 正 一	前田 八壽彦
安田 優 子	横山 隆 義
澤 紀 男	銀杏 泰 利
福間 裕 隆	

第 88 回国民体育大会及び第 33 回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及させ、国民の健康増進と体力の向上を図るとともに、地方のスポーツ振興と地方文化の発展に大きく寄与してきた。また、全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与してきた。

本県においては、昭和 60 年（1985 年）に「明日へ向かってはばたこう」をスローガンとして、質素で真心のこもった第 40 回国民体育大会「わかとり国体」及び第 21 回全国身体障害者スポーツ大会・わかとり大会を県民の総力を挙げて開催し、全国最少人口の県であっても「やればできる」という自信と誇りをもたらし、本県スポーツの振興に大きな礎となった。

国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を本県へ招致することは、県民誰もがスポーツを通じて健康で豊かな生活を享受できる鳥取県らしい共生社会づくりを推進するものである。また、将来にわたり人口減少が進む本県にとって、効率的な大会運営に努めつつ本県の魅力を県内外に発信できれば、地方創生の起爆剤となり、鳥取県の元気づくりに繋がる絶好の機会である。

よって、鳥取県議会は、平成 45 年（2033 年）の第 88 回国民体育大会〔本大会〕（スポーツ基本法の一部を改正する法律（平成 30 年法律第 56 号）の施行後の国民スポーツ大会）及び第 33 回全国障害者スポーツ大会を鳥取県に招致することを強く要望する。

以上、決議する。

平成 年 月 日

鳥 取 県 議 会